



各位

2026 年 9 月 15 日
株式会社 ABEJA

**ABEJA、防衛装備庁と「視覚言語行動モデルの検証及び運用基盤検討役務」の契約を締結
～ 視覚言語行動モデルを一貫して管理するための実践体系
「VLAOps」構築に向けた要件整理を実施 ～**



人と AI の協調により「ゆたかな世界を、実装する」株式会社 ABEJA（本社：東京都港区、代表取締役 CEO：岡田 陽介、以下「ABEJA」）は、防衛装備庁陸上装備研究所と「視覚言語行動モデルの検証及び運用基盤検討役務」の契約を締結したことをお知らせいたします。

視覚言語行動モデル（以下「VLA モデル」）とは、視覚情報（Vision）・自然言語（Language）・具体的な行動（Action）を統合的に処理するモデルです。

ABEJA は、2026 年 1 月に防衛装備庁と「視覚言語行動モデルの検証役務」に係る契約を締結しており、このたびの契約はそれに続く取り組みとなります。

本契約において、ABEJA は、防衛装備庁と協力し、オフロード環境における無人地上車両（UGV）の自律走行に向けた VLA モデルの適用可能性の検討及び追加学習の深化を進めます。また新たに、VLA モデルを継続的に運用・改善するための実践体系である「VLAOps（VLA model Operations）」を構築する際の要件整理等を実施いたします。

参照：[ABEJA、防衛装備庁と「視覚言語行動モデルの検証役務」の契約を締結](#)

■ 契約内容

件名：視覚言語行動モデルの検証及び運用基盤検討役務

納期：2027 年 3 月 26 日



- 主な内容：
- ・ 視覚言語行動モデルの検証
 - ・ 視覚言語行動モデルの追加学習
 - ・ VLAOps 構築のための要件整理
 - ・ 作業報告書の作成および作業報告会の実施

ABEJA は、引き続き、防衛装備庁と連携し、オフロード環境における UGV の自律走行の本格的な実装に向けた取り組みを推進してまいります。

■ 株式会社 ABEJA について

ABEJA は、「ゆたかな世界を、実装する」を経営理念に掲げ、ABEJA Platform を中核に、顧客の AI 活用を実運用として成立させ、継続的な高度化を実現するエンタープライズプラットフォーム事業を展開しています。ABEJA Platform は、AI を PoC（概念検証）ではなく実運用として成立させ、Agentic AI による意思決定と Physical AI による実行を統合することで、データ、意思決定及びオペレーションを一体的に扱い、リアル空間における業務の高度化を支える実装基盤です。また、人と AI が協調する「Human in the Loop」を前提としたアーキテクチャの元、初期段階から AI の実運用を可能にし、「ゼロ PoC」を実現します。これにより、ミッションクリティカルな業務においても、AI を業務プロセスに組み込みながら継続的に高度化することが可能です。

本 社：東京都港区三田一丁目 1 番 14 号 Bizflex 麻布十番 2 階

設 立：2012 年 9 月 10 日

代 表：代表取締役 CEO 岡田 陽介

事 業：顧客の AI 活用を実運用として成立させ、継続的な高度化を実現する「エンタープライズプラットフォーム事業」

URL：<https://abejainc.com>